

安古市高等学校と防災訓練を実施しました

12月6日、安古市高校1年生と学区防災組合連合会が合同の防災訓練を実施しました。

今回の防災訓練は、安佐南区消防署、上安消防署、安佐南区社協ボランティアセンターの皆様の協力を得て開催できたもので、クラブ活動生徒、教頭先生と40数名が参加され、学区自主防災委員、関係者を含め参加人員74名の合同訓練となりました。

毘沙門台小学校 岡崎校長先生も、起震車による南海トラフの地震を想定した40秒間の体験であったが、縦揺れ、横揺れの強弱体験はとても強力なもので貴重な模擬体験をされました。

訓練は、室外訓練と屋内訓練のすべてのコースを全員が体験しました。

最新鋭の起震車体験、火災時の消火器取り扱い方、災害時の車いすを活用した様々な救助方法、棒と毛布による担架実体験を学び、屋内においては、心肺蘇生とAEDの取扱い方法、簡易雨合羽づくりなど多彩な内容となった。万一の事態に遭遇した時に、今回の防災訓練が活かされることを確信しました。

毘沙門台学区社会福祉協議会
事務局長 林 裕

